薬疹(ステロイド内服)の治療を受ける患者さんへ

患者氏名: 主治医: 受持ち看護師:

月日項目	入院	人 入院2日目~	退院日
達成目標	・身体の状態について理解することができる・治療に関してわからないことや不安なことを医療者に相談することができる・薬について理解できる	・皮疹や痒みの増強なく、過ごすことができる ・検査を通して薬疹の原因となる薬を知ることができる ・手洗い・うがい・マスク着用を行い、感染予防に努めることができ る	・皮疹や痒みが軽減し、皮膚のケアができる・中止薬が言える・感染予防に努めることができる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・これまで飲んでいた内服薬を中止し、ステロイドの内服・軟膏塗布を開始します。 ステロイドの内服に伴い、血糖 測定を行うことがあります。 ・感染予防のため、うがい薬を開始します。 ・症状が出ている部分から皮膚生検を行います。 ・お薬や軟膏は全て看護師にお渡しください。 ・点眼薬や眼軟膏が開始となることがあります。	・ステロイドの内服と軟膏塗布を毎日継続します。皮膚の状態や全・薬疹の原因を調べるため、様々な検査を行います。 検査の際には心電図モニターをつけ、点滴を行います。 ・皮膚生検部は抜糸まで消毒、またはシャワー時に石鹸で洗ってガ・うがい薬や点眼薬、眼軟膏がある場合は、医師の指示があるまで	一ゼを当てます。
検査	・採血、尿検査、心電図、肺機能検査、胸腹部レントゲン、皮膚生検など	・必要時、採血などの検査を行います。	
活動・安静度	・制限はありませんが、ステロイド投与中のため、マスクを着用して人ごみを避けてください。		
食事	・感染予防のため、生ものは医師の指示があるまで禁止となります。		
清潔	・制限はありませんが、皮膚生検を行った場合は体拭き ・身体の状態が安定していればシャワー浴が可能です。シャワー浴が難しい場合は体拭きを看護師が一緒に行います。 となることがあります。		
排泄	・制限はありません。		
患者様及びご 家族への説明 栄養指導 服薬指導	・ステロイドの薬や皮膚のケアについて看護師から説明があります。 ・医師の診察と本人・ご家族へ説明があります。 ・熱や痛みがある場合は看護師までお知らせください。鎮痛剤や解熱剤を投与します。 ・痒みがある場合はアイスノンで冷やす、軟膏を塗るなどの対応します。看護師までお知らせください。	す。看護師までお知らせください。 ・風邪の症状(熱っぽい、鼻水・せきが出る、喉が痛いなど)がある	説明があります。 ・看護師より退院指導(皮膚のケアについて、生活上の 注意点など)があります。